



原田信志

国立大学法人 熊本大学学長

日頃より、熊本大学の男女共同参画の推進について、ご協力いただきありがとうございます。

本学では、平成11年の男女共同参画社会基本法の制定を契機に男女共同参画社会の実現に向けた取組みを本格的に始動し、「男女共同参画」という言葉が必要とされない大学を目指して取組みを強化してまいりました。この間、平成18年には文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業に採択され、また、平成19年3月には国立大学法人熊本大学男女共同参画推進基本計画を策定するなど、全学的な取組みを推進しています。平成22年度の理工系の女性研究者増強のための女性研究者養成システム改革加速プログラムの採択に続いて、平成25年度には女性研究者研究活動支援事業(拠点型)に採択され、本学の女性副学長のもと、大学コンソーシアム熊本に加盟する機関とも連携して、女性研究者支援の取組みを熊本県内に普及させる活動も開始しています。また、平成25年と本年2月には、男女共同参画環境の整備に関して「くるみんマーク」も取得しています。(2回目取得は熊本県内初)

今般、女性研究者研究活動支援事業(拠点型)でロールモデル誌を作製し発行することになりました。この中で、多くの女性教員の記事を掲載することで、皆様に男女共同参画推進に向けた現状について情報を共有いただき、女性の視点を活かした、様々な多様性を認めあう社会の将来像に思いを馳せていただきたいと思います。このことで、本学はもとより地域の「男女共同参画」が飛躍的に推進するものと確信しています。